

公表日 2026年 3月 20日

保護者等数(児童数)※家庭数 23名 回収数 22件(割合95%)

※入院加療中1名

事業所名 こぼんはうすさくら 都筑中川教室

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22				・部屋が分かれていますので、作業場と運動の場があって良いです。	児童の成長も踏まえ、広々とした空間で活動出来るように構造化を図っていきたい。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21			1	・いつも手厚く見ていただいている、本当にありがたいです。	児童の様子も含め、職員配置は標準以上にゆとりを持ってしている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22				・よく整頓されています。	玄関前やトイレの段差には、必ず職員が危険のないように見守りを徹底している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22				・室内に必要なことを分かりやすく掲示されています。 ・ごちゃごちゃしてなくて良いです。	・清潔な環境で過ごせるように日々の掃除や消毒などを欠かさずに行っている。 ・児童が荷物管理を学びやすいように、職員も環境整備を意識している。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22				・個別支援計画に沿って、またお話しした内容で、細かな対応をしていただいています。 ・子どもの特性を司会して接して下さっており、良いことやダメなことをしっかり教えてくださっています。	様々な知識を持ち寄り、職員同士でアイデアを出し合いやすい環境で、今後も支援を行っていく。
	6	事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22				・個々に沿って接していただいています。	毎月作成しているプログラムに沿って、個々への細やかな対応を意識しながら支援を行っていく。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	22				・保護者の希望にも寄り添っていただいています ・ご提案いただく内容は適切だと思います。	児童の成長段階に寄り添いながら、今後もスモールステップを徐々に積み重ねているような計画作成を心掛けていきたい。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22				・成長に合わせて支援の内容も発展し、将来に向けての内容も盛り込んでもらい、常に《頑張る方向》で動いていただいています。	今後も様々な活動を提供できるように、丁寧に対応をしていきたい。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21			1	・前向きな気持ちになれるような支援をしていただいています。	集団、個別ともに、幅広い支援を提供し、経験値を増やしていきたい。
	10	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22				・曜日でも活動は異なりますし、イベントの内容が以前より幅が広がって良いです。 ・どの子も楽しめるプログラムを毎週考えてくださっています。	多くの職員の意見から、その時期に必要なことを盛り込み、楽しみながら学べる工夫をしていく。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	4		11	・安心できる居場所として利用していることもあり、外部交流の必要性は感じません。	積極的な交流は行っていないが、外出イベントなどを企画し、社会性を育む体験ができる機会を作りたい。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	1			・ずいぶん長く通っているので覚えていませんが、説明いただいたかと思えます。	管理者が契約時に説明を行っている。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	1			・丁寧に説明をしていただいています。	面談や書面にて、確認を行っている。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	1		2	・LINEを通じて情報提供いただく内容が増えて良いと思います。	今後、そのような機会を検討中。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	22				・送迎時や電話でも子どもの状況を共有させていただいて、ありがとうございます！ ・面談以外で、LINEとかでも何かあった時に相談しても良いのでしょうか？	お仕事の都合で営業時間内に連絡が難しい方もいらっしゃると思いますので、LINEにてご相談いただく事もあります。その場合、支援や送迎等の関係ですぐに対応出来ないこともありますが、ご了承いただけますと幸いです。(早期対応は意識しています)
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22				・いつも気にかけて下さって、相談に乗ってもらえているので本当にありがたいです。	安心してご利用いただけるように、常に寄り添う気持ちを大切にしている。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22				・支援内容の提案もあり、こちらも助かっています。	児童や保護者さまの気持ちを細やかに受け止め、丁寧な支援を継続したい。

	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	2	2	・保護者会は仕事の都合で参加が難しいですが、イベント等で参加が出来るのが良いと思います。 ・親や兄弟も参加できるイベントがあり、毎年行けるのを楽しみにしています！	今年度はインフルエンザ流行警報によって開催が叶わなかったが、保護者会の開催や交流イベントなど、今後も充実していきたい。
保護者への説明等	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19		3	・学校との連携介入は少し難しい（学校側の意識として）と思いますが、学校生活の相談もできるので安定して通えています。	相談しやすい関係性も大切にしたいと考えており、児童や保護者さまからの声に丁寧に耳を傾け、今後も出来る限りの対応をさせていただきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22			・公式LINEの活用が、とても良いです。	管理者が主に対応しているが、職員間での情報伝達もしっかりと継続していく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21		1	・おたよりや Instagramで、活動の様子はお知らせしてもらっています。	月に1回のおたより配布を継続している。Instagramや『ごぼん通信』での発信もはじまっている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21		1	・不安に思った事は今までありません。	今後も十分に配慮を徹底する。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21		1	・マニュアルや訓練内容などをLINEで配信していただけたりとすると保護者は安心かもしれません。	・各マニュアルは用意しており、定期的な避難訓練やプログラムにも取り入れている。 ・保護者さまへの発信について前向きに考えたい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21		1	・避難訓練は定期的に行っているのだから良いと思います。	年に2回の避難訓練を行っている。職員の対応や、公式LINEでの緊急連絡が出来る体制を整えたい。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22			・実際には見ておりませんが、問題なく行われていると感じています。	活動中は常に安全に配慮するように心掛けている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	2		・今まで事故を経験していませんが、小さな怪我や変化でも報告していただいています。	活動中に起こる怪我について、迅速に対処し、お伝えしている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22			・もう一つの家のような感じです。安心できるみたいで、ほかの予定よりごはんを優先したいようです。 ・子ども自身が第二の家だと思っていそうなくらい、安心して通所しています。	職員全員が愛情を持って関わり、今後も信頼関係を築きながら、安心した環境を提供していきたい。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22			・毎週楽しみに行かせていただいています。 ・安心して過ごせる居場所だと思っています。	今後も充実した支援を提供し、成長過程にも寄り添い、児童には楽しみながら学んで欲しい。 ☆安心して過ごせる居場所でありたいと心から願っています☆
	29	事業所の支援に満足していますか。	22			・とても満足しています！ ・いつもありがとうございます♡	今後も安心して楽しく通っていただけるように丁寧な支援を行いたい。 ☆嬉しいお言葉に感謝しております☆

公表日 2026年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 都筑中川教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13		・子ども同士の距離感や空間認知の学習に必要なエリアが確保できている。 ・活動によって配置を変えたり、スペースを区切り、集中出来る工夫がされている。	児童の状況に合わせ、今度も危険のないように、必要に応じて構造化を図ってきたい。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13		・毎月、人数を考慮したシフト作成がされている。特に配慮が必要な児童にも対応できるようになっている。 ・体調不良などが重なるとバランスが不安定な週もあるが、配置が不足して重大な事案なく、協力体制が整っている。	多めの配置を心掛け、ゆとりを持って支援が出来るようにしている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	1	・屏での怪我が起こりやすいと感じ、保護シートなどで整備している。 ・シンプルな空間、配置により分かりやすい構造。基本的には平だがトイレ前には段差がある。 ・視覚的な支援（写真や絵カード）を活用し、見通しが持てるように工夫がされている。 ・スケジュール確認が出来るようにホワイトボードで掲示している。また個別でのスケジュール作成をすることもある。	児童の様子に合わせ必要な提示をしている。活動しやすい工夫をしながら、リスクのない環境作りを継続していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13		・毎日の清掃が行き届いているが、施設の老朽化は気になる所もある。 ・児童が成長し、活発に動きたい子にとっては、少し物足りなく感じってしまう事も考えられる。	日々の掃除や感染症対策は継続すること、児童の荷物管理や意識づけにも繋げている。細かい所の掃除も定期的に行っていく。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	1	・相談室や各部屋を使い、場面を変えてクールダウンをしたり話をする工夫をしている。 ・支援には十分なスペースであると思うが、完全に個別の部屋を確保することは難しい。	今後も室内が安全で過ごしやすい環境作りや、児童のケアをしていきたい。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	13		・日報や支援経過記録で、より具体的な記入をすることで改善を進めている。 ・毎朝のミーティングで、子どもたちの変化も共有できている。 ・日頃から、子どもたちの話を職員間でしやすい雰囲気である。	日頃よりコミュニケーションを大切にしている。シフトの都合で全員がそろう事は難しいため、書面などでの共有も継続していく。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13		・アンケートの実施において保護者からの共感の声があった。感謝の言葉もあり、ありがたい。 ・有資格者からの助言や周知、活用があった。 ・送迎時の会話や連絡帳、電話等でも、ご家庭のニーズを汲み取れている。	アンケート結果を周知して話し合いを行い、感謝の言葉もありたく受け止めながら、日々の支援に繋げられるようにしていく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13		・定期的なミーティングでは声を上げやすくてとても良い時間となっており、定着したい。 ・職員間で様々な意見交換ができ、話をきちんと聞いてもらえる環境である。 ・アンケートが行われる。	日頃から意見交換を行い、常に良い支援が出来るように相談している。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	4	・本部、会社の方で対応されているかと思うが、分かりかねる。	機会があれば外部からのご意見もいただきたい。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	2	・一部オンライン受講はあるが、もっと充実していきたい。 ・OTの職員からの研修があり有意義だった。	全員が集まることは難しいが、全体に周知できるように配慮したい。外部研修についても準備中。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13		・様々なレベルを考慮し、児童が参加しやすいプログラム作成が工夫されている。 ・面談と記録、アセスメントも踏まえ、全職員が案を出し合いとても有意義なプログラムが作成されている。	児童の成長段階を含め、ニーズに合った様々な経験が出来るように工夫していく。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13		・参加できる職員は限られているが、アセスメントは効率である。	定期的なカンファレンスのほか、日々の支援経過記録を参考に、児発管が作成をしている。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13		・毎日のように情報共有や相談の時間があり、全職員の共通意識で支援が出来る。書面での共有もある。	書面での共有だけに限らず、支援の中での気付きについて、職員間で相談や共有を日常的に行っている。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13		・支援経過記録と計画書のチェックで把握したうえで支援に入っている。 ・細かな情報でも正しく共有のもと、一貫性のある対応が出来ており、支援方法の改善などが出来る。	最新の状況を知るために、細かく記入されている記録を確認し、支援に備えている。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13		・なるべく実際の言葉で具体的に記入するため、文章は長くインフォーマルなアセスメントとなっている。 ・詳しく記録するように意識している。	最新の状況を知るために、細かく記入されている記録を確認し、支援に備えている。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13		・健康、生活、運動感覚などを意識したプログラムが設定されている。 ・ご家族の支援、地域連携などの支援内容も記載され、必要な場面で対応が出来るように設定されている。	地域連携は難しいと感じているが、適切な支援に向け、聞き取りやニーズを大切に考えている。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	<ul style="list-style-type: none"> ・職員がベアになり、立案から準備まで行われ、持ち回りが明らかになり進めやすくなった。 ・多くの職員が案を出し合いながら、アレンジを加えて立案している。 	多くのアイデアを出しやすい環境であり、多様なプログラムを提供できる。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	<ul style="list-style-type: none"> ・枠組みは似ていても内容は異なり、週2日以上利用している子どもには別々のプログラムも用意できている。 ・季節を意識したり様々な工夫がされている。 ・職員同士の協力を得られやすく、より良いものを準備出来ている。 	たくさんの案を出し合い、その時の児童に応じて適切なプログラム作成をしている。同じ内容を繰り返すことで理解が深まることもあり、少しずつ変化しながら継続していきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13	<ul style="list-style-type: none"> ・作成過程は児発管が行っているが、支援はそうに行っている印象。 ・年齢差や体格さ、個々の特性により、様々な個別教具を用いて、子どもたちの状況に合わせた支援を行っている。 	個別の教具は職員の手作りが多く、児童にも好評で、今後も楽しみながら学んで欲しい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	<ul style="list-style-type: none"> ・問題意識を持ってもらいたい事業に関して、打ち合わせの場で共有されている。 ・支援に入る前に各々が児童の様子を確認している。 ・お互いの得意分野を意識しながら連携している。 	支援をスムーズに行うために、事前の打ち合わせを行う。シフトがずれる職員にも必ず共有し、偏った支援にならないように意識している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	<ul style="list-style-type: none"> ・終了後の打ち合わせは出来ないこともあるが、日々の支援記録を徹底し、気になる点があれば一日の最後に話し合っている。 ・書面だけではなく、各々が感じた改善点などを日常的に伝えあう。 ・退勤時間が異なるため、大切なことがらについてはLINE等で共有をしている。 	報告や相談、共有は徹底されているので、今後も継続したい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	<ul style="list-style-type: none"> ・その日のうちに具体的な記録を意識しており、その場にはない職員でも把握できる。 ・日々の日報等で共有できる。 	記録は必ず行っている。また特記事項については記録以外にも話し合いを持ち、改善に繋げていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月面談のタイミングでアセスメントを行い、更新されている。 	定期的なカンファレンスのほか、個々の相談や会議など、より多くの職員から意見を求めるようにしている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	13	<ul style="list-style-type: none"> ・創作活動やクッキング、外出など、静と動の活動をバランスよく組み合わせる支援を行っている。 	様々な活動を通して、多くの経験値を増やせるようなプログラム提供を意識している。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	13	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に分かりやすい選択肢をいくつも示すようにしている。 ・参加拒否等がある際には、特性を考慮しながらアレンジされた支援内容を多数用意されているので、その中から選択してもらおう。 	自己決定や自主選択が出来るように、プログラムやイベント、日々の支援で積極的に取り入れている。それぞれのベースの合わせて、児童にあった選択肢を示すことも含め今後も継続したい。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	<ul style="list-style-type: none"> ・全てを把握することは難しいが、参画する職員からの報告や共有を行う。 	管理者が参加しているが、スケジュール調整が難しく参加出来ないこともある。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて学校や事業所間と情報交換を行い、子どもたちがどの場所でも過ごしやすいように一貫した支援を心掛けている。 ・保護者さまからご要望がある場合、学校との連携を行っている。 	必要な連絡がある場合は、保護者さまのご理解にもとで積極的に連携をしていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13	<ul style="list-style-type: none"> ・必要があれば情報共有を行い、相互理解に努めている。 	保護者さまと連携を取っている。学校側の急な変更は伝わりにくく、公式LINEを活用して連絡体制を整えたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	<ul style="list-style-type: none"> ・必要があれば情報共有を行い、相互理解に努めている。 	必要に応じて主に管理者が対応していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、初めての卒業生を送る予定。 ・卒業生がまだいないが、保護者を通じて進路等の相談も適宜行っている。 	今年度末に、卒業生を送ることとなる。卒業後も安定した生活が出来るように、出来る限りの準備をしていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	11	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所を利用している場合は、定期的な情報共有を行っている。 	相談支援員さんとのやり取りは管理者が行い、職員共有をしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な交流は難しいが、散歩や公園遊びを通じて挨拶や社会性の芽生えを大切に支援している。 	積極的な交流は難しいが、社会性を身に付けられるような活動を提供していきたいと考えている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	12	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者が参加。日程調整が難しく、参加出来ないこともある。 	管理者が参加しているが、スケジュール調整が難しく参加出来ないこともある。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の許す限り、多くの悩みや状況を把握している。 	日常的に相談しやすい環境作りを大切にしている。また、小さな変化にも気付けるように意識している。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	<ul style="list-style-type: none"> ・作業療法士を中心とした会議を経て、『こぼん通信』として書面での情報提供をスタートした。 	保護者会の開催時期や方法を見直したい。
保護者等への説明	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	<ul style="list-style-type: none"> ・面談や契約のタイミングでご説明をする。 	契約時に説明をしているが、定期的な確認をしていく必要もあるように感じる。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	<ul style="list-style-type: none"> ・契約前の見学の段階から、意向を意識するように心掛けている。 ・送迎時の会話や面談、電話相談などを通じて、保護者さまの移行や悩みを丁寧に聞き取るように努めている。 	大人の見立てだけにならないように、児童のことを一番に考え、共通理解をしていきたい。

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・管理者がしっかりと対応している。 ・同意があつてこそ、支援が成り立っていると感じている。 	定期的な面談で説明を行い、日々の支援に繋げていきたい。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・相談して来て下さる保護者さまへの対応は、細やかにスムーズに行うようにしている。 ・電話、メール、面談等、いつでも対応できる体制をとっている。必要に応じて適宜対応をしている。 	定期的な面談や、連絡帳、送迎時のお話など、保護者さまとのやり取りは今後も大切にしていきたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会の計画をしても、参加が難しいご家庭もあるので、ほかの交流機会を今後検討していきたいら良い。 ・出来る限り手紙やSNSで発信している。また毎年恒例のごばんまつりは交流の機会となっている。 	保護者会や毎年のごばんまつりで交流の機会があるが、今年度は開催が叶わなかった。私たちにとっても大切な時間となっており、今後も継続していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13			今後も相談しやすい環境作りを心掛け、常に寄り添う姿勢を大切にしていける。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・SNSでの発信や、ごばん日より、ごばん通信など、活用を行う工夫をしている。 ・連絡帳だけではなく、様々な発信によって、より分かりやすく安心感が得られるよう、事業所の透明性を高めている。 	公式LINEを活用し、連絡体制を整えている。おたよりでは前月の内容をお伝えしており、読みやすく伝わりやすい工夫をしていきたい。Instagramや【ごばん通信】での発信もスタートしている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・不安に思った事はない。 ・おたよりやInstagramの写真的扱いには十分に気を付けている。 	職員にも契約時に説明があり、個人情報の保護には十分に配慮している。書類は鍵付きのロッカーに保管し、厳重に扱う事が出来ている。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・一つ一つの言葉の重み、責任を重々理解している。 ・それぞれに合った対応方法を職員間で共有している。 	児童の特性を理解し、意思疎通やコミュニケーションの取り方は個々に合わせることを大切にしていける。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	5	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流は子どもたちにとってもハードルが高いと感じる。 ・ご家族全員にお声掛けするお祭りを実施するなど、開かれた運営を行っている。 	地域住民のご招待は現実的に難しいと感じている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・主に動画視聴研修を通して周知し、職員児童への定着を図っている。 ・大災害時の動きについては再度確認をしていきたい。 	各マニュアルはあり職員研修も行っているが、ご家族への周知方法について模索中。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・防犯防災についてのプログラムもあり、分かりやすく伝えるようにしている。 ・非常時に備えた訓練を増やしたい。 	災害への対応については十分に備えたいと考えている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・管理者と保護者さまとの連携のもと必ず職員にも情報共有をしている。 ・フィードバックは欠かさず行っており、常に意識して勤務している。 	対象者の情報は職員間で共有され、もしもの場合に備えている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・重症リスクのある対象者はいないが、準備は出来ている。 ・可能性のある方にはアセスメントで把握している内容を掲示し、職員が確認できるようにしている。 	一覧表にして掲示し、いつでも確認できるようにしている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13		動画研修あり、より詳しく知っていく必要がある。	詳細については周知できていない部分もあると思う。周知方法を考えていきたい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13		ご家庭との連携はとても大切に思っている。	ご家庭との連携は大切にしているが、周知に関して発展を検討中。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・記録の存在と職員同士の会話で、再発防止について意見交換をしている。 ・安全性を意識し、書面だけではなく職員同士で伝えあうようにしている。 	日報や報告書での共有だけではなく、再発防止策についての対策も考えている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの安全確保を意識し、虐待研修等で話し合っている。 ・研修機会が多くないが、自主的に学習も行っている。 	今後も研修を行うとともに、都度、話し合いをすることで共通理解をして対応を行う。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束をする児童がいない。 ・必要な状況になった場合にはご家族と相談をして帰宅の対応も取っている。 	身体拘束は行わない方向での認識を持ち、保護者さまとの連携も図りながら、児童の安全を第一に考えていきたい。	